

# 原発再稼働阻止 全国ネットワーク ニュース



ニュース 第11号  
2017年3月18日  
発行:再稼働阻止  
全国ネットワーク  
(070-6650-5549)

101-0061 東京都千代田区三崎町2-6-2 ダイナミックビル5F たんぼ舎 気付

## 玄海原発再稼働、ないふい構わず！

2017年1月18日、原子力規制委員会「玄海原発 3.4号機の審査書」適合決定  
山口祥義佐賀県知事発言—「もともと同意権なるものは存在していない。」

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会 (代表 石丸初美)

《私たちは九電と国を相手に4つの裁判で闘っています》

2010年8月9日、私たちは、プルサーマルを止めるためMOX燃料使用差止裁判を九電相手に起こし、その後3.11を挟んで「玄海原発4基全てを止めるため」九電と国を相手に4つの裁判で闘っています。

九電から出てくる資料は、真っ黒塗り、公平な裁きにはなっていません。

事故から6年が経とうというのに未だ福島第一原発は「原子力緊急事態宣言発令中」で、福島原発内では650 Svという高線量が検知されました。国が進めてきた原子力政策に失敗したのなら、先ず東京電力の事故の究明と収束に国民が力を合わせて取り組むべきです。再稼働などありえません。

《知事の無責任発言は許されない！》

2017年1月18日、規制委員会は玄海原発3・4号機が新規規制基準に適合したと審査書を決定しました。これを受け、再稼働のスケジュールはどんどん進んでいます。県の設置した「広く意見を聴く委員会」(県民から30名)2回、原子力安全専門部会(7名の専門家)5回、佐賀県議会原子力安全対策等特別委員会2回(2/8・9)、九電の戸別訪問(8500戸と県内全区長2400人)、玄海原子力発電所に関する県民説明会5か所(各1000人強)の規模の会場でしたが、参加者は100~200人とガラガラ。どこも参加者は反対の声が大多数でした。

山口佐賀県知事は地元同意について「もともと同意権なるものは存在していない」と無責任な発言をしました。また知事は、県民説明会の場において「今あそこに原発がある。我々の背負った大きな課題だと思っている」と発言。我々とは誰のことでしょうか？我々が背負うべきものは未来の人へ普通の暮らしをつなぐことです。



《住民不在の説明会は身分証提示、一人1分発言》

県内5会場で開かれた説明会は、身分証提示、一人1分一問発言とあきればかりの規制で、県民不在で、一方的なやり方でした。「高レベル廃棄物は何年保管するつもりか？」の会場からの質問に、九電と国はしどろもどろのすえ、国がやっと「10万年」と言いました。

また、2月24日に玄海町議会原子力対策特別委員会が開かれ、九電からの聞き取りが行われました。議員は早期の再稼働を容認する意見が多く、再稼働に唯一反対する議員が、避難計画や使用済み核燃料の最終処分場問題の問いに、委員長は「私の発言中に、黙れ！」「最終処分がどういう関係があるのですか？」「避難対策とか全般的な外れの質問じゃないか」と封じ込め、九電に対して「答弁する必要なし」と指示しました。私たちは耳を疑うものでした。(2頁につづく)

再稼働阻止全国ネットワーク「全国相談会」

5月20日(土)~21日(日) 東京で開催決定

\*今回は分科会方式を採用 [会場など詳細は別途]

[首都圏以外の方には交通費補助実施]

(1頁より続く)

### 《子供たちの未来を大切に！核のゴミはいらない》

避難計画や最終処分場問題の議論は、再稼働の是非を総合的に判断するために当然のことです。私たちは、知らず知らずのうちに原発の電気を使ってきました。玄海原発で事故が起きれば被害は玄海町にとどまりません。

核のゴミを否応なしに押しられるのは「子どもたち」「未来の人たち」です。私たちは、これ以上放射能の負の遺産をこれ以上増やしてはならないのです。

最後に、玄海3・4号機再稼働差止仮処分の決定が、近日中に佐賀地裁から下されます。

皆さん、これからも応援よろしくお願いします。

2017年1月22日(日)関西電力本店前  
大阪高裁「控訴審」関電の策謀を許すな



## 高浜原発うごかすな！ 関電包囲全国集会【報告】 関西電力は大津地裁決定に従え！ 1000名が結集【1月22日】

1/21～22「全国相談会」開催。全国原発現地からの参加者も含め2日間で150名が討論

### 関電包囲大阪行動に参加して そして避難先の地で考えたこと

～福島から岡山へ

避難している女性よりお便りが届きました～

1月21、22日の「再稼働阻止全国ネットワーク」の会議、デモ、皆さま大変ご苦労様でした。

早いもので3.11の大震災から丸6年目を迎えようとしています。あれだけ世界中の人を震撼させた大災害が世の多くの人に忘れられようとしている、あるいは、福島が復興したかのように思われていることに対し危機感を持っています。

再稼働阻止全国ネットワークの会議では、多数の方は長く活動をされている感じを受けました。その長い年月の中で、たくさんの紆余曲折があった事とお察し致します。でもここは正念場、一人一人の知恵をさらに結集して“力”に変えて闘っていかねばと思います。

### 《危機を前に私たちが出来ることは》

これから起こるであろう南海トラフ地震、おそら東日本大震災を上回るだろうといわれる被害、日本列島に連なる火山、中央構造線が動き出したとのこと、原発テロへの脅威、複合汚染の被害等、問題は山積みです。

おそらく、多くの無関心を装っている人たちも、実は危機感を持っていると思います。でも自分の許容範囲を超える出来事を想像することはとても耐えがたいことなのではないでしょうか？

考えたくない～、その気持ちが分からなくもない～、でも考えなくてはいけない…この狭間で心が揺れ動い

ている人はたくさんいると思います。

考えれば考えるほど、憂うつになってしまう時、私は近くにある“犬養毅”生家（記念館）に行きます。この辺では“犬養木堂”さんと呼ばれています。眼光鋭い写真を見ながら、私は問いかけています。

「木堂さん、“話せば分かる”といいますが、話しても分からないじゃないですか～、どうすればいいんですか？」としばらく問いかけた後、家族写真に写っている幼少期の緒方貞子さんの顔を拝見して、そうだ！緒方さんは難民を救う時、「命さえあれば、彼らには次のチャンスがある。」とおっしゃっていたではないか、と思い出し、落ち込んでいる場合じゃないと“何かを”いただいたような感覚で帰りはなぜか早足になっています。

【王文成公詩「天のなす事は声もなく臭いもない」】

—犬養木堂

私たちは地球という星に生命ある間は住まわせて頂いている、と思っています。自然の営みに敬意を払い、一人一人がひとつの欲を我慢して、これ以上この星を汚さないで、次の世代へ引き渡す努力をしなくてはならないでしょう。

そのためには、私自身、この人と話してみたいと思われるような人間にならなければならないと思います。

心折れることも多々ありますが、原点に帰り、楽しみもチョイスしながら、原発止めて世界が“四海波静”になりますように！



**鎌田さんの言葉に励まされ、雨もやんだ中、  
関電包囲デモ、大阪市内にてアピール行動**

「全国相談会」では様々な運動、行動が提案され、  
元気と勇気を湧き出る大阪行動でした。

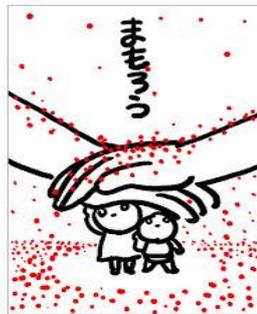
乾喜美子(経産省前テントひろば)

高浜原発動かすな！関電包囲全国集会と再稼働阻止  
ネット全国相談会に参加しました。

全国相談会はエル大阪で1月21・22日の二日にわた  
って行われ、21日は午後2時から8時まで85名の参加、  
22日は9時から12時まで74名の参加とのことでした。  
私は経産省前テントが撤去されるまで土・日はテントに  
座り込んでいたので色々な集会などに参加できず、相談  
会への参加も今回初めてでどんな話し合いがされるの  
かとても興味がありました。会場で何度か経産省前テン  
トを訪れて下さった方たちにもお会い出来て嬉しな  
かったです。

相談会では各地から様々な取り組みをしていること  
が報告されました。アメンバーデモを続けている人たち、  
同意させない民意を作るためポスティング作戦をして  
いる人、電気料金一円過払いをしてやってくる徴収員を  
説得している人などなど色々頑張っている話を聞いて  
勉強になりました。

日頃何をやっても脱原発の声  
は届かず、次々再稼働されてし  
まう現実に落ち込んでしまう  
ことがしばしばですが、最初  
に話された鎌田さんの「反対  
運動が再稼働を簡単に出来な  
い抑止力になっているのでは」  
との言葉に励まされました。



2日目は相談会の後、「福島の子たち」と一緒に天満  
橋から堂島川のほとりを歩いて中之島公園へ。朝からの  
小雨も途切れておしゃべりしながらの楽しい散歩にな  
りました。ところが集会が終わってデモ出発際に土砂  
降りとなり、頂いたプラカードもぐちゃぐちゃに濡れて  
使えなくなり残念！それでも元気にシュプレヒコール  
を上げながら歩き続け、解散地点へ着くころ雨は上が  
って陽も差してきてほっとしました。そこから関電本社  
までは銘々歩き、そこでまた1時間半ほどの集会があ  
りました。

集会は発言者がどこからの方なのかわかるようなブ  
ラカードをかけてもらうなど工夫を凝らした素晴らしい  
ものでした。高浜原発3・4号機仮処分決定、大阪高  
裁での保全抗告審決定が2月頃にあるのではとのこと  
で勝った時と負けた時の対策が相談会でも話されまし  
たが、弁護団長の井戸謙一さんから勝ち目があるとい  
うような発言があり力強い思いです。

雨は上がったものの冷たい風が吹き付けてとても寒  
くなったので私は関電包囲の直前に帰途に着きました。  
後で1000人の人で包囲が成功したと聞いて反原発の人  
たちが頑張っていることがわかりました。今回福島から  
自主避難している方たちも何人か参加され、事故の後、  
転々とされたこと、家族の中でも考えが違い分断されて  
しまった話など直にお聞きしてもっと多くの人にこの  
現実を知ってもらえたらと思います。ちょっと疲れまし  
たが有意義な2日間でした。

**「再稼働阻止ネットワーク」会計報告**

〈2016年6月12日～2017年3月8日〉

◇ 収入合計	<u>2,744,982 円</u>
内	
繰越金	945,578 円
会費・カンパ	1,294,000 円
訳	
街頭カンパ	505,404 円
◇ 支出合計	<u>1,513,388 円</u>
内	
全国行動交通費補助	650,895 円
伊方の家	230,000 円
訳	
事務所費	205,000 円
	(7～10月8万円 11～3月12万5千円)
事務費	427,493 円
	(電話代、印刷費、横断幕・旗など)
◇ 残金(3月8日現在)	<u>1,231,594 円</u>

**「再稼働阻止全国ネットワーク」の会計について(補足説明)**

▽主な収入源は、個人年会費3千円・団体年会費5千円と  
カンパ収入です。街頭カンパに協力して頂いた皆様に感  
謝申し上げます。

カンパについては全国原発現地の方々が全国行動に参加  
するたびに交通費半額支給を実施できました。

▽原発現地(伊方、川内)に赴き、現地住民の方々と協力し、  
活動する常駐体制の為に伊方の家(13年11月開設)・川  
内の家(14年3月開設)の活動資金として2年10ヶ月  
あまり、636万3560円を現地行動の為に送金させて  
頂きました。

▼今後の運動に向け、なお一層現地住民の皆様の力になれ  
ますよう全国ネットワークを強化発展させていきます。  
引き続き、皆様のご支援をお願いします。

**【サポーター会員・カンパ募集中】**

郵便振替:00110-0-688699「再稼働阻止全国ネットワーク」

# 再稼働を進める全ての電力会社が、再稼働前後にトラブルを起こしています。

以下に述べますように、一昨年8月以来、再稼働した川内原発1号機、高浜原発4号機、伊方原発3号機は、何れも、再稼働前後に重大事故に繋がりがねない深刻なトラブルを起こしています。再稼働を進める全ての電力会社でトラブルを起こしているのです。トラブル率 100%です。

これは、原発の点検・保守や安全維持の困難さを示唆し、配管の腐食や肉厚の減少、部品の摩耗などが進んでいることを示し、傲慢で安全性軽視に慣れ切り、緊張感に欠けた電力会社が原発を運転する能力・資格を有していないことを実証しています。

さらに、原子力規制委員会が適合とした原発を所有する電力会社の全てが再稼働前後にトラブルを起こした事実は、原発の再稼働にお墨付きを与えた新規制基準が極めていい加減な基準であり、規制委の審査が無責任極まりないことを物語っています。



## 【原発サイトの事故事例】

[若狭の原発を考える会]

原発サイト	事故発生日	事故の状況
九州電力 川内原発1号機	2015. 8. 20 再稼働直後	発電に使った蒸気を冷やす「復水器」の中の細管(直径25ミリ)5本が損傷し、細管内を流れる海水が外側の2次冷却水に混入。2次冷却水に塩分が混じれば、2次系の配管も腐蝕しやすくなり、原子炉内を回り、放射性物質を含む高圧の1次冷却水が2次冷却水中に噴出し、重大事故に繋がる可能性も。
関西電力 高浜原発4号機	2016. 2. 20 再稼働準備中	原子炉補助建屋で、放射性物質を含む水たまりが見つかりました。計約34リットルの水漏れ。関電は、原因を「配管の弁のボルトが緩んでいたため」とし、漏れた放射能は約6万ベクレルと発表。
関西電力 高浜原発4号機	2016. 2. 29 再稼働直後	出力5%で送電を始めた29日午後2時頃、発電機と変圧器の故障を知らせる警報が鳴り、発電機が止まり、原子炉が自動で緊急停止。核燃料の核分裂反応を抑える制御棒が総て差し込まれた。
四国電力 伊方原発	2016. 7. 14 再稼働準備中	伊方原発内で実施した重大事故対応訓練で作業員2人が熱中症になり、原子力規制委員会から「作業手順に改善を要する点がある」として一部再訓練を指示。
四国電力 伊方原発3号機	2016. 7. 16 再稼働準備中	原子炉の冷却水を循環させるポンプから洗浄用の水が漏れる。四国電力はポンプを緊急停止。カーボン製の部品を2つ組み合わせた部分にすき間ができて洗浄水が漏れたとみられる。復旧作業のため再稼働時期は8月にずれ込む。
四国電力 伊方原発3号機	2016. 8. 26 再稼働直後	純水製造装置建屋内の配管のつなぎ目から水漏れが発生。亀裂が見つかったゴム製パッキンを交換する事態に。
関西電力 協力会社	2016. 8. 5 ヘリから資材落下	関電の協力会社のヘリコプターが、奈良県五條市内のヘリポートから約3km離れた工事現場に運ぶ途中の約800kgの鉄板1枚を、高度約200mから、山中に落下させた。国土交通省は重大インシデントと認定。
北陸電力 志賀原発2号機	2016. 9月末. 規制委審査中	6.6トンの雨水が原子炉建屋に流入。原子力規制委員会は、重大なトラブルに発展した可能性が否定できないとして北電に再発防止策の報告を求めました。1時間に約30mmの降雨があり、構内道路が冠水、仮設ケーブルが通る地下空間を通して原子炉建屋の1階や地下に流れ込み、照明用の分電盤がショート。
日本原電 敦賀原発2号機	2016. 11. 30 冷却水飛散	原子炉補助建屋の地下2階で、作業員が高さ約1mの所にある配管の弁のボルトを緩めたところ、1次冷却水約160ℓが飛散。日本原電は、作業員10人の衣服や顔に放射性物質を含んだ水がかかったが「けがや被ばくはない」と発表。
中国電力 島根原発2号機	2016. 12月 中央制御室のダクト腐食	中央制御室と外部をつなぐ空調換気ダクトに腐食による穴(最大で30cm×1m)が19ヶ所あることが発覚。ダクトに使われる鋼板は、厚み1.2~3.2mm程度と薄いため、腐蝕破損しやすく、とくに海からの塩分が加わると腐食は加速同様な腐食は全国の原発でも進んでいると考えられる。

## 『再稼働阻止全国ネットワーク』

連絡先 TEL 070-6650-5549 FAX 03-3238-0797 info@saikadososhinet.sakura.ne.jp

東京都千代田区三崎町2-6-2 ダイナミックビル5F たんぽぽ舎気付け

- **共同代表** 中嶋哲演(福井)/佐々木慶子(ふくしま WAWAWA-環・話・和の会)(福島)/柳田真(たんぽぽ舎) 齊間淳子(八幡浜・原発から子どもを守る女の会)(伊方)/佐野慶子(元静岡市議会議員)(浜岡) 近藤ゆき子(刈羽村 生命を守る女性の会)(柏崎刈羽)/鎌田慧(ルポライター)/広瀬隆(作家)
- **再稼働阻止全国ネットワークホームページ** saikadososhinet.sakura.ne.jp/
- **郵便振替口座** [00110-0-688699] 加入者名:「再稼働阻止全国ネットワーク」